SNS
「ロボin南相馬」
もよろしくお願いします

Facebook　Twitter　YouTube

ロボ in 南相馬 かわら版 11

令和４年
７月15日

【お問合せ】
商工労政課
ロボット
産業推進室
電話
0244(24)5335

市内に実証実験の協力者が増えています！
モニター制度応募者の協力と介護施設「福寿園」の協力で２つの実証が行われました

市内には、福島ロボットテストフィールドを中心に、ロボット関連産業のベンチャー企業が集積し、新しいロボットやサービスが開発されています。こうした新しいロボットやサービスを商品化するためには、多くの方に使っていただき、利用者の視点や意見を集め、開発にフィードバックを集めることがとても重要です。

市は、こうした商品開発を後押しするため、モニターによる実証の相談があった事業者の支援を行いました。

リビングロボットでは、市のモニター制度を活用し、プログラミング学習用ロボット「あるくメカトロウィーゴ」の実証を行いました。

また、アシストモーションでは、市が仲介し、歩行トレーニング用のロボットスーツの実証を介護施設「福寿園」の協力のもと行いました。

今回の実証は、モニター制度の応募者と市内事業者の協力によって行われ、市では、今後もこの取組を推進します。

実証でお困りの事業者は、ロボット産業推進室までご相談ください。

市民の皆様、新しいロボット・サービスのモニターを随時募集中です。みんなの力で、開発を後押ししましょう！

モニター応募はこちら

「あるくメカトロウィーゴ」の実証に協力する男の子

歩行トレーニング用のロボットスーツを試用する福寿園入居者

恐竜型ロボットがやってくる！
ロボテス見学会を開催します！

市では、大人から子どもまで楽しみながら最先端技術に触れる機会を創出するため、8月20日に福島ロボットテストフィールドで、「ロボテス見学会」を開催します。

見学会では、施設見学ツアーのほか、ロボットの展示・体験や草刈りロボットの実演会、ロボット導入事業所のトークセッション、恐竜型ロボットの搭乗体験などを予定しています。

申込方法は、８月１日号の広報みなみそうまに掲載予定です。お楽しみに！

【日時】
８月20日㈯
10:00 ～ 15:00

【会場】
福島ロボットテストフィールド

※参加費無料

物流革新は近い！
佐川急便相馬営業所でドローンによる荷物の配送実験が行われました

5月11日、佐川急便相馬営業所から柚木公会堂の区間で、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（ＮＥＤＯ）の荷物の配送実験が行われました。

実施は、東京大学、小高区に拠点を持つイームズロボティクス、佐川急便、パーソルプロセス&テクノロジーズが共同で行いました。

公開飛行では、実際に人や車を感知し停止や回避するドローンの様子が確認することができ、ドローンによる物流革新が、すぐそこまで来ていることが感じられました！

実際に実験に使われた機体（左手前）、開発中の機体（右奥）

公開されたインターフェースの一部

福島相双復興推進機構と共同出展！
千葉県の幕張メッセで行われたJapanDrone2022で、本市始めとした県内のドローンの取組を多くの方に発信しました！

本市と福島相双復興推進機構の共同ブース

市は、6月21日から23日の3日間、幕張メッセで行われたJapanDrone2022に出展しました。

今回の出展は、原子力災害からの福島の復興・創生を支援する福島相双復興推進機構との共同ブースで、ドローン関連企業が多く集積する本市を始めとした県内のドローンの取組を紹介しました。

ブースには連日、多くのドローン事業関係者が訪れ、本市のドローンに係る取組を知ってもらう良い機会となりました。

また、開催2日目には、テレビユー福島のニュース番組「Nスタふくしま」の取材が入り、出展している県内ドローン関連事業者や福島相双復興推進機構との共同ブースの様子が放送されたことで、会場に来ていない方にも、広く本市及び県内のドローンに係る取組を知ってもらうことができました。

◀テレビユー福島の松井アナには、福島からロボットによる遠隔で取材いただきました

◀放送されたニュース映像

実証フィールドリストを活用！
JDRONEが市内休耕地を活用し、ドローンの動作試験を実施しました

市内進出ベンチャー企業JDRONEが、市内休耕地を活用して、ドローンのエンジン動作試験を実施しました。

エンジン動作試験中のドローン

同社は、市の作成した「ロボット実証フィールドリスト」を活用しており、実証が気軽にできると好評でした。

ロボット実証フィールドリスト▶

市内のフィールドを活用する企業がもっと増えて、市内でロボットやドローンが動いている風景が当たり前になるといいですね！

災害救助の強い味方！
災害支援ドローンの長距離水平飛行実験が実施されました

災害支援ドローンの開発・販売を行っているセンチュリーは、市内海岸で災害支援ドローンの長距離飛行実験を行いました。

この実験は、災害支援ドローンの長距離飛行時の最大飛行距離や映像鮮明度、飛行安定性、無線強度等を確認するために行われたもので、実験は成功したとのことです。

災害支援ドローンの普及で、不幸な事故を一件でも多く減らせる未来に期待です！

※この実験は、南相馬市ロボット実証実験支援助成金を活用し行われました。

助成金の詳細▶

空の高速道路計画中！？
NEXCO東日本とFaroStarが空飛ぶクルマ衝突自動回避実験

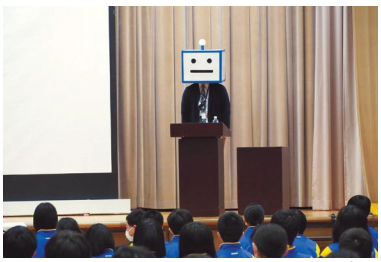
5月18日から20日の3日間、NEXCO東日本と新交通システム開発スタートアップFaroStarは、空飛ぶクルマの実用化に向けた、ドローン同士の衝突を自動で回避する技術の実験を、市内サービスエリア「セデッテかしま」で行いました。

実験では、上空に周回コースを設定して、空飛ぶクルマに見立てたドローンを飛ばし、対向して飛んで来る別のドローンを自動で検知して衝突を回避の様子を確認しました。

衝突自動回避中の2機のドローン

▲衝突自動回避中の動画

その姿に生徒がざわついた！
原町第二中学校で、市のロボットに関する取組について講演をしました


ロボットの被り物をした市職員が登壇！生徒の興味を引き立てた

4月21日に原町第二中学校で行われた総合学習の授業で、市ロボット産業推進室の職員が、福島ロボットテストフィールド入居企業と共に講演をしました。

講演では、生徒に市の取り組むロボット産業の現状について説明し、市の課題である人口減少にどう対処していけば良いかを生徒に考えてもらいました。

今回の講演がきっかけで、生徒がロボットに興味を持ち、将来メードイン南相馬のロボットを作ってくれたら嬉しいです！